

森清郎 としき ドイツ文學者。明治二十八年東京生れ、昭和二十一年歿

(一九五〇四六)。早稻田大學文學部卒。同大教授。

譯書、エリザベト・フェルステルリニー子エ著「ニーチエの生涯」全

二冊(共譯、上巻「若きニーチエ」、昭和十五年四月六日、下巻「孤獨

なるニーチエ」、七月二十六日モダン日本社)、「ナチ入新鋭文學選集」

(共譯、昭和十六年二月二十八日春陽堂)、フルーノ・タウト著「自

本文化私観」(特裝版・昭和十七年四月十五日明治書房)、タルブレ

ット・ボイムレル編「ニーチエ書簡集」(共譯、昭和十八年十一月二

十五日新太陽社)、フルーノ・タウト著「ニッポン・ヨーロッパ人の

眼で見た」(平成二年十一月十日講談社「講談社学術文庫」)等。

